

一般質問 (5)、決算・補正予算の審査結果です



IHI 跡地に建てられたマンション

やさしさとふれあいのまちは、  
ご近所づき合いから

遠藤 源太郎 (自民)

**質問** IHI跡地西側の一方通行道路は危険だ。拡幅し、歩道を設置せよ。

**回答** 鋭意努力する。

**質問** 同跡地は高層建物が次々と建ち、風害が大きな問題となっている。対策は、植栽で対応する。

**回答** 跡地周辺道路の市民要望に1年も対応がない。

**質問** 警察が管轄する部分については改めて要望する。

**質問** この夏、高齢者の所在不明や痛ましい事件が発覚した。住民不在の住居が多くなっているが。

**回答** 住民不在の住宅の把握については、確認できていない。コミュニケーションのあり方の中で検討したい。

**質問** 高齢者の見守りでは町内会の果たす役割は大きい。行政として育成せよ。

**回答** 実態調査を行う。

**質問** 定年を迎えた団塊の世代に「地域デビュー」を。地域活動への積極的な参加を期待する。

**質問** 田無駅南口広場の実現について。

**回答** 市民の期待の高まりを強く感じる。お知恵やアドバイスをいただきたい。

**質問** 市内にある生活用水の跡を史跡として保存せよ。

**回答** 他市を参考にし、今夏の猛暑を教訓とし、学校にエアコンの設置を。財政状況を勘案して検討する。

西東京マルシェ構想で活力増進！  
中原小学校の迅速な建替計画を！

納田 さおり (無所属)

**質問** 東大農場と都市農業を連携させ、ヨーロッパのマルシェ(市場)風の直売施設を設置することで、田無駅北部地域の活性化を狙える。強い財政基盤を持つまちづくりの戦略的な取り組みとして提案したい。

**回答** 都市と農業が共生するまちづくり実施計画等と整合性を図りながら、東大等と丁寧な調整を行う。

**質問** 既存の介護施設を有効活用した宿泊デイサービスは、利用者のニーズに的確にこたえる事業である。

**質問** 出張旅費の明細、支給方法、市長の考えは。

**回答** 出張旅費の明細、支給方法は、市長の考えは、1万4千円を支給している。国・都の動向で対応したい。

**質問** 民間は領収書による実費精算だ。

**回答** 旅費の内訳は、宿泊料のほか交通費と日当、場合によって食事料がある。実際に払った額と著しく違う場合は調整している。

出張旅費は実費精算にせよ！  
ケースワーカーを増員せよ！

森 てるお (無所属)

**意見** 調整ではなく、領収書により精算を行うと、条例を変えるべきだ。

**質問** 生活保護のケースワーカー1人の受け持ちが160世帯から110世帯に改善された。その後増えているが、市長の認識を問う。

**回答** 職員は18名、1人当たり118世帯だ。新規申請が多く、受給者への訪問が手薄になっている。チームで

クリアな音声を聴くことができる。

**生物多様性** あらゆる種類の生物が、バランスを取りながら、様々な形でつながって生態系を形成していること。

**小規模多機能型居宅介護** 「通い」を中心として、要介護者の心身状態や希望に応じて、「訪問」や「泊

まり」を組み合わせて提供するサービスのこと。

**査察指導員** 福祉事務所に置かれる職員で、ケースワーカーに対し、指導、助言などを行う。

血液の中のペプシノゲン濃度を測るにより胃がん発生のリスクを推定することができる。

**ペピロリ菌** 胃に住みつく細菌で、胃の粘膜を傷つける。胃炎、胃潰瘍、胃がんなどの原因の一つの可能性があり、研究が進められている。

**ペプシノゲン** 胃でつくられる消化酵素(ペプシン)の前駆物質で、



中原小学校

えが必要であるが、ひばりが丘団地の用地活用を視野に入れ、ひばりが丘中も含めた一体的な検討を早急に行う必要がある。

**回答** 今年度中にひばりが丘団地の用地活用も含め問題・課題を整理する。

**質問** 法律上は80世帯に1人だ。それでもきつい。無理をすれば職員がつかれる。どうするのか。また、職員の在任年数、査察指導員の人数と経験年数は。

**回答** 経験年数は平均で1年7ヵ月。査察指導員2人の平均経験年数は4年だ。

**質問** 着任してすぐできる軽い仕事なのか。新人に法律の1.5倍の担当はむちゃだ。早急に改善せよ。

**回答** 定数管理部門に要望、実情を伝えて協議する。

決算・補正予算の審査結果です

平成21年度決算と平成22年度補正予算の主な審査結果をお知らせいたします。  
決算特別委員会 9月27日～10月1日 予算特別委員会 9月14日～9月15日

＜平成21年度各会計決算の概要＞ (単位 円)

会計名	収入済額	支出済額	収入支出差引額
一般会計	640億3,102万4,284	628億6,889万9,273	11億6,212万5,011
国民健康保険	173億3,098万0,726	171億8,360万0,887	1億4,737万9,839
下水道事業	62億2,889万4,401	62億1,528万0,487	1,361万3,914
中小企業従業員退職金等共済事業	1億8,730万6,258	1億0,902万7,966	7,827万8,292
老人保健(医療)	4,091万8,731	3,614万7,367	477万1,364
駐車場事業	1億7,166万4,947	1億6,657万8,655	508万6,292
介護保険	97億5,600万8,042	97億3,097万3,340	2,503万4,702
保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業	23億0,699万2,128	21億0,368万6,317	2億0,330万5,811
後期高齢者医療	30億1,230万9,808	29億2,726万7,892	8,504万1,916
小計	390億3,507万5,041	384億7,256万2,911	5億6,251万2,130
合計	1,030億6,609万9,325	1,013億4,146万2,184	17億2,463万7,141

